

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度熊本港湾・空港整備事務所管内埋没検討業務	
業 務 概 要	計画準備 資料収集・整理（1） 資料収集整理 埋没実態及びメカニズムの把握 埋没シミュレーションモデルの構築 埋没シミュレーションモデルの構築 埋没シミュレーションモデルの入力データの作成 埋没現象の再現 資料収集・整理（2） 資料収集整理 構造形式の検討 有識者ヒアリング 協議・報告 照 査 成果物 業務完成図書作成	1式 7ケース 1式 1式 1式 1式 1ケース 1式 2回 4回 1式 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所長 宮本 由郎 熊本県熊本市川尻2-8-61	
契 約 年 月 日	令和5年7月10日	
契 約 業 者 名	令和5年度熊本港湾・空港整備事務所管内埋没検討業務沿岸技術研究センター・いであ・日本海洋コンサルタント設計共同体	
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区西新橋1-14-2	
契 約 金 額	25,080,000円(税込み)	
予 定 価 格	25,135,000円(税込み)	
随意契約によることとした理由	本業務を実施するにあたり、八代港・熊本港の埋没現象の実態及びメカニズムを把握し、八代港（外港地区）泊地・航路及び熊本港（夢咲島地区）航路付帯施設の埋没シミュレーションモデルを構築した上で埋没対策の検討を行うという総合的な知見及び専門的技術力が必要となるため、受注業者に対しては、1. 予定技術者の経験および能力（技術者資格、業務執行技術力等）、2. 適切な業務実施方針（業務理解度、業務実施手順等）、3. 特定テーマに対する技術提案（的確性、実現性）等の観点からプロポーザルの提出を求めたものである。 建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、令和5年度熊本港湾・空港整備事務所管内埋没検討業務沿岸技術研究センター・いであ・日本海洋コンサルタント設計共同体が最適であると判断されることから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものとする。	
業 務 場 所	-	
業 種 区 分	建設コンサルタント等	
履 行 期 間 （ 自 ）	令和5年7月10日	
履 行 期 間 （ 至 ）	令和6年3月15日	
備 考		